都 市 建 設 部

都 市 計 画 課

下 水 道 課

建 築 住 宅 指 導 課

道 路 建 設 課

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名		278 石岡駅周辺整備事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	01 都市計画総務費		
				主な内訳		委託料, 工事請負費		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	石岡駅・バス利用者・中心市街地への来訪者			
	施策	O1 駅周辺・市街地の整備		意図 (どのように)	魅力的な空間の創出・利便性の向上			
事業の概要		石岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、西口駅前広場等の石岡駅周辺の整備をします。						
事業全体としての課題		石岡駅周辺整備（西口駅前広場、鹿島鉄道跡地利用等）を進める上で、事業費等財源の確保が必要です。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	駅周辺施設のバリアフリー化		駅舎, 自由通路のバリアフリー化率			%	平成27年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	100	100				
	実績値	100						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	660,950	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	413,600	495,800	0	0	0	0	0
	その他	1,052,592	0	12,139	0	0	0	0
	一般財源	198,038	79,870	12,113	124,195	0	0	0
	実績額計	2,325,180	575,670	24,252	124,195	0	0	0
	予算額計	1,817,417	575,670	24,252	124,195	44,341	0	0
執行率		127.94 %	100 %	100 %	100 %	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	測量設計・補償調査		用地測量 補償調査				%	30%
	橋上駅舎及び東西自由通路整備 工事委託		JR石岡駅橋上駅舎及び東西自由通路を整備する				%	100%
西口駅前広場整備工事		西口駅前広場を整備する				%	90%	
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
西口駅前広場やBRT専用駅前広場、JR石岡駅橋上化及び東西自由通路の完成と、石岡ステーションパークのリニューアル、飲食店舗の開設等により、駅周辺の利便性を高めることが出来ました。今後、駅東側の未利用地の整備を進め、駅周辺の賑わいとさらなる公共交通の利便性を進めます。							令和5年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	408 駐車場管理運営経費			予算	会計	06 駐車場会計		
根拠法令	石岡市駐車場条例				款	01 駐車場費		
					項	01 駐車場管理費		
					目	01 業務管理費		
				主な内訳	委託料			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	顧客全般			
	施策	O1 駅周辺・市街地の整備		意図(どのように)	違法駐車解消と交通事故防止			
事業の概要				石岡駅東市営駐車場の管理運営を行います。				
事業全体としての課題				管理人在中時間が8時～10時、16時～19時までの管理時間であるため利用者のサービス低下になっています。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	利用率		1日平均利用台数			%	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	70	70				
		実績値	108					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	21,966	4,898	5,052	5,220	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	実績額計	21,966	4,898	5,052	5,220	0	0	0
	予算額計	22,202	4,898	5,324	5,471	5,492	0	0
執行率		98.94%	100%	94.89%	95.41%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	料金清算システム保守点検回数		駐車場の料金システムの保守点検回数				回	6
	警備回数		駐車場の警備回数				日	365
	管理業務回数		駐車場の管理業務回数				日	365
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
駅周辺の市営駐車場については、高齢化社会を踏まえ、ゆとりある駐車スペースの確保を図り、利用しやすい駐車場を目指します。							—	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	573 駅周辺整備基金費			予算	会計	01 一般会計		
					款	13 諸支出金		
					項	01 基金費		
					目	05 駅周辺整備基金費		
根拠法令				主な内訳	駅周辺整備基金			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	石岡駅・バス利用者・中心市街地への来訪者			
	施策	O1 駅周辺・市街地の整備		意図 (どのように)	魅力的な空間の創出・利便性の向上			
事業の概要				石岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、西口駅前広場及び石岡駅周辺の整備をします。				
事業全体としての課題				石岡駅周辺整備を進める上で、基金の確保が必要です。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	駅周辺施設のバリアフリー化		駅舎、東西自由通路のバリアフリー化率			%	平成27年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	100	100				
		実績値	100					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2,403	156	13	4	0	0	0
	一般財源	17,112	22,564	22,495	24,022	0	0	0
	実績額計	19,515	22,720	22,508	24,026	0	0	0
	予算額計	19,550	22,720	22,508	24,026	22,192	0	0
執行率		99.82%	100%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	石岡駅周辺整備		駅周辺整備				%	100%
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
基金の活用により、駅前広場や橋上化等の石岡駅周辺整備が完成しました。今後も駅周辺の整備にあたっては、基金を活用してまいります。							-	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名		10107 自由通路維持管理経費		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	01 都市計画総務費		
				主な内訳		需用費, 委託料		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	石岡駅東西自由通路の利用者			
	施策	O1 駅周辺・市街地の整備		意図 (どのように)	快適に利用する			
事業の概要		石岡駅周辺整備事業により建設された東西自由通路の維持・管理を行います。						
事業全体としての課題		維持・管理に多額の経費を必要とします。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標							
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	14,259	18,363	18,335	0	0	0
	実績額計	0	14,259	18,363	18,335	0	0	0
	予算額計	0	14,259	18,363	18,335	22,290	0	0
執行率		%	100%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	自由通路維持管理		維持・管理				%	100%
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
<p>日常の清掃や定期点検を行い、施設や機器類の安全管理に努めてまいりました。今後も日常の管理と定期点検で、施設が安全に長期亘って利用できるようにしてまいります。</p>							-	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	218 地域交通対策事業			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	02 総務費		
					項	01 総務管理費		
					目	07 企画費		
				主な内訳	役務費, 負担金補助及び交付金			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	高齢者等移動制約者, 交通不便地域の市民			
	施策	O2 公共交通機関の充実		意図 (どのように)	移動制約者の交通手段の確保			
事業の概要				地域住民の交通手段を確保するため, 民間路線バス廃止に伴う代替バスや乗合いタクシーの運行に対する補助を実施しています。				
事業全体としての課題				急速な高齢化が進むなかで公共交通の重要性が見直されてきており, 国や県においても公共交通機関の維持・確保に重点的な取り組みが行われています。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市内公共交通機関利用者数		1日当りの主な市内公共交通機関の利用者数			人	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	8,000	8,000				
		実績値	7,794					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	70,792	71,671	66,403	74,697	0	0	0
	実績額計	70,792	71,671	66,403	74,697	0	0	0
	予算額計	72,008	71,990	66,441	74,832	68,401	0	0
執行率		98.31 %	99.56 %	99.94 %	99.82 %	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	石岡市乗合いタクシー運行事業補助金の交付		事業に要する経費から, 運賃収入等を差し引いた金額。運賃収入に直結する1日あたりの乗車人数を目標設定				人	150
	石岡市代替バス運行事業補助金		事業に要する経費から, 運賃収入等を差し引いた金額。運賃収入に直結する1日あたりの乗車人数を目標設定				人	39
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
移動制約者への移動手段の提供はできている。運行方法や利用方法を検討し, 情報誌等への広報をすることで, 更なる利用促進を図る必要がある。また, 経費の削減を踏まえつつ, 住民と協力した利用促進活動の実施と効率的な運行を一緒に実施する必要がある。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	174 街路整備事業（単独）			予算	会計	01 一般会計		
	根拠法令	都市計画法			款	08 土木費		
項					04 都市計画費			
目					02 街路事業費			
				主な内訳	旅費,需用費,委託料, 負担金補助金及び交付金			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	顧客全般			
	施策	O3 道路の整備		意図（どのように）	都市計画道路を整備し,円滑な交通体制の確立を図る。			
事業の概要				歩行者等の安全確保や交通渋滞の解消を図り, 円滑な交通体系の確立を目的に, 都市計画決定された幹線道路の整備及び推進をします。				
事業全体としての課題				交通渋滞を緩和し, 歩行者等の安全確保や利便性向上のため都市計画道路の整備を推進します。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	都市計画道路整備延長		都市計画道路の整備 26路線			m	令和6年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	66,770	66,770				
		実績値	34,360					
事業計画		過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	現年度（予算額） 平成31年度	将来予測額 令和02年度	将来予測額 令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	199	119	1,294	151	10,215	0	0
	実績額計	199	119	1,294	151	0	0	0
	予算額計	199	119	1,294	151	0	0	0
執行率		100%	100%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
歩行者等の安全確保や交通渋滞の解消を図り, 円滑な交通体系の確立を目的に, 都市計画決定された幹線道路の整備を実施しています。修繕が必要になってきた道路については, 計画的に修繕を行っていきます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	478 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令	新・合併特例法, 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業に関する基本要項				款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	02 街路事業費		
				主な内訳	旅費,需用費,役務費,委託料,工事請負費,公有			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	顧客全般			
	施策	O3 道路の整備		意図(どのように)	広域幹線道路を整備し, 地域間のネットワークの形成と, 市外からの一層の交流を促進する。			
事業の概要				新市の一体化の確立や均衡ある発展のため, 新市建設計画に基づいて実施する道路を, 合併特例債を活用して整備をします。				
事業全体としての課題				合併特例債事業の期限が平成36年度のため計画的な整備に努めます。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	道路整備延長		合併支援道路整備延長(6路線)			m	令和6年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	8,050	8,050				
		実績値	6,694					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	274,195	189,064	160,419	96,567	68,529	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	308,400	203,200	159,100	83,000	76,500	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	80,636	499,549	195,544	153,632	227,486	0	0
	実績額計	663,231	891,813	515,063	333,199	0	0	0
	予算額計	663,231	831,001	515,063	333,199	0	0	0
執行率		100%	107.32%	100%	100%	%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	委託料		合併支援6路線の委託契約件数を目標設定				件	9
	工事費		合併支援6路線の工事施工延長を目標設定				m	306
	用地費		合併支援6路線の用地買収面積を目標設定				m ²	1,326.44
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
合併支援道路を6路線整備しています。今後も補助金や交付金等を活用しながら, 全体的な整備ではなく事業効果が上がる区間を重点的に整備していきます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	667 国道6号バイパス建設促進事業			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	01 都市計画総務費		
				主な内訳	負担金			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	道路利用者			
	施策	O3 道路の整備		意図 (どのように)	バイパスの整備により快適で安全な街づくりをする。			
事業の概要		市内の交通渋滞を解消し、快適で安全な街づくりのため、国道6号バイパスの早期実現を目指し、事業促進に向け要望活動や広報活動を行います。						
事業全体としての課題		国、県とも財政状況が厳しく、国道6号千代田石岡バイパス事業の進捗が遅れています。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	事業化区間の事業進捗率		執行額/全体事業			%	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	100	100				
	実績値	72						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	374	313	358	323	0	0	0
	実績額計	374	313	358	323	0	0	0
	予算額計	383	383	383	341	423	0	0
執行率		97.65%	81.72%	93.47%	94.72%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	広報紙の発行		広報紙「6号バイパス」の発行				回	1
	国に対する要望活動		国土交通省、国会議員への要望活動				回	1
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
今後も国道6号千代田石岡バイパスの一日も早い完成に向け、活動を実施していきます。							-	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	63 都市計画審議会経費			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令	都市計画法, 都市計画審議会条例				款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	01 都市計画総務費		
				主な内訳	報酬			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市民, 地権者			
	施策	O4 計画的な土地利用の推進		意図(どのように)	都市計画法によりその権限に属せられた事項の調査審議等を行います。			
事業の概要		都市計画決定の手続きのなかで, 案件を審議会に付議, 諮問し, 審議会の議決, 意見を求める。						
事業全体としての課題		特になし。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	都市計画審議会の開催回数		年度における都市計画審議会の開催回数			回	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	2	2				
		実績値	3					
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	221	284	143	191	0	0	
	実績額計	221	284	143	191	0	0	
	予算額計	472	300	312	405	329	0	
執行率	46.82%	94.67%	45.83%	47.16%	0%	%	%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	都市計画審議会の運営		都市計画審議会の開催回数を指標とする				回	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
都市計画の健全な発展と秩序ある整備を図るため都市計画法に基づく審議会であり, 都市計画法, 条例に基づき適正に運営していきます。						-		

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名		572 公園維持管理経費		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		都市公園法, 岡崎市都市公園条例			款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	03 公園事業費		
				主な内訳		委託料		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	公園施設等利用者			
	施策	O6 公園・緑地の整備		意図 (どのように)	利用者が安心して安全にくつろげる憩いの場を提供する。			
事業の概要		利用者が安心して安全にくつろげる憩いの場として公園維持管理を行います。						
事業全体としての課題		公園は、利用者のみならず地域住民にとって、環境や防災の面から多くのメリットがあるため、公園管理について、行政、地域住民、ボランティア等と安全な環境整備体制が必要です。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	公園里親制度への加入団体数		加入団体数			団体	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	7	7				
	実績値	7						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	13,770	9,812	4,163	4,860	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	12,300	8,800	3,700	0	0	0	0
	その他	76,432	44,000	1,938	2,613	0	0	0
	一般財源	63,718	60,059	193,985	113,208	0	0	0
	実績額計	166,220	122,671	203,786	120,681	0	0	0
	予算額計	172,378	224,370	221,929	124,325	78,752	0	0
執行率		96.43 %	54.67 %	91.82 %	97.07 %	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	施設清掃・管理・保守点検回数		清掃・管理・保守保安業務(ステーション他)週6日(月~土)				日	311
	施設夜間警備回数		夜間警備業務				回	1,095
	機械器具等保守点検回数		ステーションパーク・駅東口交通広場駐車場保守点検及び機械警備業務				回	12
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
公園長寿命化計画を進めながら、予防保全型維持管理への転換を積極的に図る。						-		

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名			
				都市建設部		都市計画課			
事業名	276 都市計画一般経費			予算	会計	01 一般会計			
					款	08 土木費			
					項	04 都市計画費			
					目	01 都市計画総務費			
根拠法令	都市計画法,茨城県屋外広告物条例			主な内訳					
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)			顧客 (誰を)	一般市民			
	施策	O8 地域に調和した景観の整備			意図 (どのように)	土地利用の効率性の向上を図ります。			
事業の概要				人口、土地利用、建物、都市施設などの現況を調査し、その動向を把握し、より効率の良い街づくりを目指し、地域地区や都市施設などの都市計画決定(変更)を行います。景観や良好な都市環境を維持するため、屋外広告物に関する事務を遂行します。					
事業全体としての課題				高齢化や人口減少などの情勢変化に対応した都市計画の運用を検討しなければなりません。屋外広告物については、違反広告物が数多くあり、更なる指導が必要です。					
成果指標	項目	指標名			指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市街化区域内土地利用			市街化区域における土地利用			%	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度			
		目標値	75	75					
		実績値	59						
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	2,133	6,480	0	0	0	
	県支出金	0	3,590	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1,168	3,509	3,792	1,356	0	0	0	
	一般財源	11,953	16,754	4,107	11,893	0	0	0	
	実績額計	13,121	23,853	10,032	19,729	0	0	0	
	予算額計	13,477	25,281	11,682	20,618	28,889	0	0	
執行率	97.36%	94.35%	85.88%	95.69%	0%	%	%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値	
	屋外広告物の是正指導		屋外広告物の許可件数を指標とする				件	251	
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)			
都市計画マスタープランに基づき、土地利用の効率化を進めていきます。屋外広告物に対する指導をさらに強化し、適切な設置を進めていきます。						-			

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名		11419 景観形成事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		景観法, 石岡市景観条例, 石岡市基金条例, 石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業補			款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	01 都市計画総務費		
				主な内訳				
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	一般市民, 企業			
	施策	O8 地域に調和した景観の整備		意図(どのように)	良好な景観形成を図ります。			
事業の概要				良好な都市景観を維持するため、景観条例や住民参加型まちづくりファンド支援事業の適切な運用を図り、景観に関する施策を進めます。 良好な景観に関する事項について、景観調査委員会に諮り意見を求めます。				
事業全体としての課題				住民参加型まちづくりファンド支援事業は、個人や企業などが事業者となって建築物等の修景を行うため、建物所有者の景観形成への理解と協力が必要です。また、当該事業は、市民からの寄附を財源の一部に充てているため、寄附の協力が不可欠です。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	住民参加型まちづくりファンド支援事業		事業の実施件数			件	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	2	2				
		実績値	3					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	3,393	0	0	0
	一般財源	0	0	0	3,051	0	0	0
	実績額計	0	0	0	6,444	0	0	0
	予算額計	0	0	0	7,054	13,929	0	0
執行率		%	%	%	91.35%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	景観調査委員会の運営		景観調査委員会の開催件数を指標とする。				回	4
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
中心市街地や先導的な景観形成地区において、修景事業の実績が上がってきているため、今後も取組みを推進してまいります。							-	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名		11396 ステーションパーク利活用事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	03 公園事業費		
				主な内訳		工事請負費, 委託料		
体系	政策	02 豊かな生活を支える活力ある産業を育む まちへ (産業・経済)		顧客 (誰を)	施設利用者, 通行人			
	施策	02 商業の振興・中心市街地の活性化		意図 (どのように)	賑わいの創出			
事業の概要				石岡ステーションパークのうちバスターミナルとして利用されている1階部に店舗や待合所を設置し, 施設利用者の利便性向上を図り, 中心市街地への拠点施設とする。				
事業全体としての課題				関係法令との調整や店舗の運営方法の確認が必要となる。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標							
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	700	0	0	0
	一般財源	0	0	0	56,463	0	0	0
	実績額計	0	0	0	57,163	0	0	0
	予算額計	0	0	0	57,705	0	0	0
執行率		%	%	%	99.06 %	%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
事業の成果と今後の方向性							見直し年度 (目標年度)	
関係部署との連携, 調整を図り, 施設利用者の利便性向上に努め, 石岡ステーションパークの維持管理を行っていく。							-	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	8696 下水道事業会計（総括）			予算	会計	05 下水道事業会計		
					款	xx 下水道費、公債費、予備費		
根拠法令	下水道法・下水道施行令・石岡市下水道条例				項	xx 下水道管理費、下水道建設費、公債費、		
					目	xx 下水道総務費、流域関連公共下水道維持		
					主な内訳	整備事業費、維持管理経費他		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民			
	施策	O5 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善			
事業の概要				<p>国庫補助金及び起債を活用しながら、下水道施設の計画的な整備、受益地の拡大を行い、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図る事業です。</p> <p>下水道施設使用者には、使用料の賦課・徴収を行い、下水道施設未接続者には、下水道施設への接続啓発等を行います。</p> <p>また、下水道施設は、経年劣化に伴う老朽化等が進行しているため、ストック調査を行い、改築(更新、長寿命化)に取り組みます。</p>				
事業全体としての課題				<p>人口減少や高齢化が本格化する中、厳しい財政状況や社会構造の変化等により、下水道施設の整備予算は年々減少傾向の中、維持管理費は年々増加傾向です。</p> <p>そのため、下水道施設の整備及び維持管理を効率的に実施する必要があります。</p>				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	整備率		供用開始面積/計画区域面積（3,263ha）			%	令和17年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	56.9	59.5				
		実績値	43					
事業計画		過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	現年度（予算額） 平成31年度	将来予測額 令和02年度	将来予測額 令和03年度
財源区分	国庫支出金	113,927	144,669	50,586	70,978	0	0	0
	県支出金	140	80	220	12,505	0	0	0
	地方債	259,200	338,900	374,800	266,800	0	0	0
	その他	706,804	635,023	638,195	727,047	0	0	0
	一般財源	1,200,756	1,203,298	1,200,659	1,084,132	0	0	0
	実績額計	2,280,827	2,321,970	2,264,460	2,161,462	0	0	0
	予算額計	2,280,827	2,321,970	2,264,460	2,161,462	2,341,603	0	0
執行率		100%	100%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	整備率		供用開始面積/計画処理区域面積（3,263ha）				ha	43
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
<p>現状を鑑み、下水道施設の整備計画を見直しを行い、中継ポンプ場や処理場だけでなく、管渠、マンホールポンプ等も含めた下水道施設のストック調査を行い、適正な施設の維持管理、改築(更新、長寿命化)に取り組む必要があります。</p>							令和4年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	8697 農業集落排水事業会計（総括）			予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
					款	xx 農業集落排水事業費、公債費、諸支出金		
根拠法令	地方自治法、農業集落排水処理施設条例、石岡市農業集落排水事業分担金に関する条例				項	xx 農業集落排水事業管理費他		
					目	xx 農業集落排水事業総務費他		
					主な内訳	総務費、維持費、建設費他		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	農業集落排水設備整備区域の市民			
	施策	O5 下水道の整備		意図（どのように）	農業集落排水施設の使用した生活環境の改善			
事業の概要				農業集落排水事業により整備した出し山地区(21ha)、関川地区(146ha)、石岡西部地区(144ha)、東成井地区(111ha)、恋瀬地区(74ha)、計5地区(496ha)の施設の維持管理を行い、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図る事業です。 農業集落排水施設使用者には、使用料の賦課・徴収を行い、農業集落排水未接続者には、農業集落排水施設への接続啓発等を行います。				
事業全体としての課題				農業集落排水施設は、経年劣化に伴う老朽化等が進行しているため、維持管理費は年々増加傾向です。そのため、農業集落排水施設への接続向上等による収益改善、農業集落排水施設の維持管理を効率的に実施する必要があります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	接続率		令和7年度 80% (参考)H25全国83.5%、茨城県79.3%（3湖沼75.9%）			%	令和7年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	68	70				
		実績値	71.1					
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	1,100	1,520	1,080	2,413	0	0	0
	地方債	0	0	9,500	10,200	0	0	0
	その他	49,015	46,688	48,576	51,395	0	0	0
	一般財源	257,574	264,621	263,516	270,600	0	0	0
	実績額計	307,689	312,829	322,672	334,608	0	0	0
	予算額計	307,689	312,829	322,672	334,608	346,782	0	0
執行率		100%	100%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	接続率		令和7年度 80% (参考)H25全国83.5%、茨城県79.3%（3湖沼75.9%）				%	71.1
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
農業集落排水施設未接続者、宅地内工事業者等に対し、平成30年度から新たに県で拡充した接続制度等の情報発信、農業集落排水施設未接続者への個別訪問による接続依頼等を継続して行い、農業集落排水施設接続向上に取り組んでいきます。							令和7年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	65 霞ヶ浦浄化対策経費			予算	会計	01 一般会計		
					款	04 衛生費		
根拠法令	茨城県霞ヶ浦水質保全条例			主な内訳	項	01 保健衛生費		
					目	04 公害対策費		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）		顧客（誰を）	浄化槽設置者			
	施策	07 環境保全の推進		意図（どのように）	高度処理合併浄化槽の設置費等を補助します。			
事業の概要				市民を対象に高度処理合併浄化槽の設置費等の補助を行い、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図る事業です。				
事業全体としての課題				国庫補助金、県補助金を活用し、限られた予算の中で、高度処理合併浄化槽の設置等を促進しなければなりません。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	補助設置数		高度処理合併浄化槽補助設置数			基	令和元年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	140	145				
		実績値	130					
事業計画	過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	現年度（予算額） 平成31年度	将来予測額 令和02年度	将来予測額 令和03年度	
財源区分	国庫支出金	17,130	16,588	24,375	24,348	0	0	
	県支出金	41,213	41,240	57,966	46,741	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	21,575	0	0	0	
	一般財源	16,095	15,985	49	17,343	0	0	
	実績額計	74,438	73,813	103,965	88,432	0	0	
	予算額計	74,438	73,813	103,965	88,432	100,921	0	
執行率	100%	100%	100%	100%	0%	%	%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	補助設置数		高度処理合併浄化槽補助設置数				基	130
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）		
国、県に補助制度の見直し、拡充を要望し、本事業の推進に努めます。						令和元年度		

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名			
				都市建設部		建築住宅指導課			
事業名	489 狭あい道路整備事業			予算	会計	01 一般会計			
	根拠法令				平成30年度石岡市狭あい道路整備事業実施要綱			款	08 土木費
					項	02 道路橋りょう費			
					目	03 道路新設改良費			
主な内訳									
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	狭あい道路の隣接地に建築する市民				
	施策	O3 道路の整備		意図（どのように）	事業費の一部を助成し狭あい道路を解消する				
事業の概要				セットバック（道路後退）が義務となる狭あい道路（市道）に接する土地に建築行為をする土地所有者に対し、当該道路後退部分の市への帰属（買取又は寄付）を前提として、分筆測量費及び工作物等の撤去費の一部を補助し、舗装工事を実施することで狭あい道路を解消します。					
事業全体としての課題				建築基準法第42条第2項により指定された道路（市道）に接する土地に建築行為がある場合のみ、当該土地所有者を対象とする補助事業のため、拡幅は局所的であり狭あい道路全体の解消には至っていない状況です。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度	
	最終目標	狭あい道路の隣接地に建築行為をする土地所有者の数		過年度実績による予測値			件	令和3年度	
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度			
		目標値	10	10					
		実績値	8						
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来予測額	将来予測額	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,227	4,988	4,192	4,769	0	0	0	
	実績額計	5,227	4,988	4,192	4,769	0	0	0	
	予算額計	6,700	7,200	5,540	5,880	8,100	0	0	
執行率		78.01%	69.28%	75.67%	81.11%	0%	%	%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値	
	狭あい道路整備事業補助金の交付		後退用地の分筆測量及び工作物等の撤去に要する金額 過年度実績による予測値を目標設定				件	8	
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）		
本事業における狭あい道路の解消は局地的ですが、道路交通の安全が向上して居住環境が改善することにより、法令順守に対する住民への周知、啓発に一定の効果が期待できるため、今後も継続して取り組みます。							令和3年度		

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名		73 市営住宅維持管理経費		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		公営住宅法・石岡市営住宅管理条例			款	08 土木費		
					項	06 住宅費		
					目	01 住宅管理費		
				主な内訳		需用費(建物修繕, 備品修繕), 委託料		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市営住宅の入居者			
	施策	O7 住宅の整備		意図(どのように)	良好な住環境を提供します。			
事業の概要		市営住宅の適正な維持管理を行い, 入居者に対し, 良好な住環境を提供します。						
事業全体としての課題		市営住宅の老朽化に伴い, 維持管理費が増加します。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市営住宅維持管理戸数		市営住宅597戸			戸	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	603	597				
		実績値	597					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	33,879	32,696	25,080	24,029	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	実績額計	33,879	32,696	25,080	24,029	0	0	0
	予算額計	35,007	34,298	26,436	25,993	29,298	0	0
執行率		96.78%	95.33%	94.87%	92.44%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	市営住宅管理人に対する報酬		市営住宅管理人に対する報酬				人	44
	建物修繕箇所数		市営住宅建物不良箇所の修繕				箇所	123
	備品修繕箇所数		市営住宅備品不良箇所の修繕				箇所	22
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
住宅本体及び附帯設備の経年劣化に伴う計画的な改修・更新を実施するための予算確保に努めます。						令和3年度		

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名		282 市営住宅長寿命化改修事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		石岡市営住宅長寿命化計画			款	08 土木費		
					項	06 住宅費		
					目	01 住宅管理費		
				主な内訳		工事請負費		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	市民が入居する、全市営住宅。			
	施策	O7 住宅の整備		意図 (どのように)	計画的な改善事業を行います。			
事業の概要		ストック（中層住宅）のライフサイクルコストの縮減及び事業量の平準化を図るため、平成21年度に長寿命化計画を策定、社会資本整備総合交付金を活用して、計画的な改善事業を実施します。						
事業全体としての課題		建設後の経過年数及び老朽化の進展に伴い、予防保全的な管理・修繕の必要性が高まるとともに、今後、更新に係るコストの大幅な増加が見込まれていることから、長寿命化を図りその縮減につなげていくことが重要となっています。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市営住宅長寿命化改修事業		修繕棟			棟	令和元年
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	3	3				
		実績値	3					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	29,908	39,615	15,951	28,102	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	29,900	48,400	19,400	34,300	0	0	0
	その他	15,369	17,668	7,849	23,069	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	実績額計	75,177	105,683	43,200	85,471	0	0	0
	予算額計	75,933	106,260	43,963	88,385	75,918	0	0
執行率		99%	99.46%	98.26%	96.7%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	市営住宅長寿命化改修事業		一年間で実施する修繕棟数				棟	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）		
長寿命化改修計画に基づき順次、改修工事を実施します。						令和3年度		

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名		387 木造住宅耐震改修促進事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		石岡市木造住宅耐震診断士派遣事業実施要綱 建築物の耐震改修の促進に関する法律			款	08 土木費		
					項	01 土木管理費		
					目	02 建築指導費		
				主な内訳		委託料, 負担金補助及び交付金		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	昭和56年5月31日以前に建築された戸建て木造住宅所有者			
	施策	O7 住宅の整備		意図 (どのように)	耐震の必要性を啓発し, 耐震化率を向上させます。			
事業の概要				戸建て木造住宅所有者からの申し込みにより, 茨城県木造住宅耐震診断士を派遣して耐震診断を行います。 耐震診断と耐震補強工事の費用の一部を補助します。あわせて市内における商工業の活性化を図ります。				
事業全体としての課題				石岡市耐震改修促進計画で定めた目標の耐震化率を達成するためには, 耐震改修の普及啓発, 相談体制の整備や情報提供の充実を図ることが重要です。そのためには, 耐震診断の必要性や補助事業の活用を周知し, 耐震改修を実施し, 被災時の既存木造住宅の被害の軽減を図ります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	木造住宅耐震改修補助戸数		精密診断・耐震改修工事に対して補助を行う。			戸	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	2	2				
		実績値	0					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	328	182	104	78	0	0	0
	県支出金	36	70	40	30	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	8	14	8	6	0	0	0
	一般財源	294	112	64	48	0	0	0
	実績額計	666	378	216	162	0	0	0
	予算額計	916	540	540	540	1,660	0	0
執行率		72.71 %	70 %	40 %	30 %	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	木造住宅耐震診断士受診戸数		木造住宅耐震診断士による耐震診断戸数				戸	3
	木造住宅耐震改修補助戸数		補助制度による耐震改修戸数				戸	0
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
住民へのPR活動に工夫をしながら, 今後も事業周知・啓発活動を活発に行っていきます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名	674 木の住まい助成事業			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
根拠法令	平成30年度石岡市木の住まい助成事業補助金交付要綱			主な内訳	項	01 土木管理費		
					目	02 建築指導費		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	自ら居住するための木造住宅(在来工法)を建築する市民 及び市外転入者			
	施策	O7 住宅の整備		意図 (どのように)	建築費の一部を助成し定住を促進する			
事業の概要				一定の要件に該当する市民及び市外からの転入者に対し、建築費用の一部を助成することで、定住人口の増加及び地域経済の活性化を図ります。				
事業全体としての課題				市外転入者からの申請が少ない状況にあります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市内における持家の着工件数		年度内における持家の着工件数			件	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	300	300				
		実績値	187					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	3,750	3,600	2,745	2,700	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6,750	10,900	7,355	7,400	0	0	0
	実績額計	10,500	14,500	10,100	10,100	0	0	0
	予算額計	17,500	18,000	12,800	16,200	12,800	0	0
執行率		60%	80.56%	78.91%	62.35%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	木の住まい助成事業補助金の交付		1件当たりの補助限度額に補助予定件数を乗じた金額。助成要件に該当する対象者及び住宅の数を目標設定				件	26
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから、事業継続が望ましいと考えます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名	762 賃貸住宅ストック事業			予算	会計	01 一般会計		
	根拠法令	住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律			款	08 土木費		
項					06 住宅費			
目					01 住宅管理費			
				主な内訳	負担金補助及び交付金			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	居住の安定に特に配慮すべき高齢者世帯・障害者等世帯・子育て世帯など			
	施策	07 住宅の整備		意図（どのように）	家賃補助を行うことにより、民間住宅の活用を推進し、中心市街地の活性化を目指します。			
事業の概要				交通網の利便性の高い石岡駅周辺の優位性を活かし、中心市街地内に存する民間住宅を活用して、高齢・障害・子育て世帯向け住宅として提供しこれらの入居者のうち、収入分位40%以下の世帯に対して家賃減額補助を行います。				
事業全体としての課題				既存賃貸住宅周辺の生活利便施設をさらに充実させる必要があります。近年、民間賃貸住宅から経済的な理由で移住希望の高齢者世帯や、新婚世帯の入居希望が増加しています。しかし、この制度の入居要件が、高齢者世帯のいずれもが60歳以上の者となっていることや、新婚世帯等の要件が定められていないため、入居することができません。このような居住の安定に特に配慮が必要な世帯への住宅の供給の促進や、中心市街地の定住人口の増加に繋げるため、入居要件の緩和を検討します。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	ストック活用賃貸住宅入居戸数		制度利用による入居戸数			戸	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	20	20				
実績値	9							
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	4,085	3,170	2,551	1,716	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,048	3,764	3,119	2,098	0	0	0
	実績額計	8,133	6,934	5,670	3,814	0	0	0
	予算額計	8,171	7,047	5,820	3,970	9,048	0	0
執行率		99.53%	98.4%	97.42%	96.07%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	賃貸住宅ストック活用事業入居戸数		20戸				戸	9
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
民間賃貸住宅の活用について、市民への周知徹底を図るとともに、高齢者世帯や子育て世帯等の配慮すべき世帯の居住の安定に努めます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名	7926 住まいづくり推進事業			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令	平成30年度石岡市住まいづくり推進事業補助金交付要綱				款	08 土木費		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)			項	01 土木管理費		
	施策	O7 住宅の整備			目	02 建築指導費		
				主な内訳				
顧客(誰を)				顧客(誰を)	基準に該当する20~45才までの市外からの転入者であって、一定規模以上の住宅を建築する者			
意図(どのように)				意図(どのように)	建築費の一部を助成し定住を促進する			
事業の概要				一定の要件に該当する若い世代の市外転入者に対し、住宅建築費用の一部を助成することで、定住人口の増加を図ります。				
事業全体としての課題				若い世代の定住人口増加を目指します。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市内における持家の着工数		年度内における持家の着工件数			件	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	300	300				
		実績値	187					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,000	6,000	7,800	7,200	0	0	0
	実績額計	3,000	6,000	7,800	7,200	0	0	0
	予算額計	4,500	9,900	11,000	9,800	6,200	0	0
執行率	66.67%	60.61%	70.91%	73.47%	0%	%	%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	住まいづくり推進事業補助金の交付		1件当たりの補助限度額に補助予定件数を乗じた金額。助成要件に該当する対象者及び住宅の数を目標設定。				件	21
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
市外住民に対する事業であり、主に若年者の定住人口増加に寄与する事業と考えられるため、事業継続が望ましいと考えられます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名		490 宅地開発指導経費		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		都市計画法			款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	01 都市計画総務費		
				主な内訳		旅費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	市街化区域内で大規模開発行為を実施する者 市街化調整区域内で開発行為を実施する者			
	施策	08 地域に調和した景観の整備		意図 (どのように)	都市計画法に基づく処分・監督			
事業の概要		都市計画法に基づく開発許可業務を通じて、市内の無秩序な開発を抑制し、良好な住環境の整備を図るほか、完了検査率を向上させるため、許可証への通知文の添付と工事完了予定日の経過後にパトロールを実施しています。						
事業全体としての課題		地方分権の推進によって、平成18年度よりまちづくり特例市として事務委任を受け許認可事務を掌っていますが、県内における完了検査率が全国平均を下回っている状況にあることから、完了届の提出と受検が法的義務であることを周知し、受検を促す必要があります。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	完了届が法的義務であることの周知率		開発許可件数に対する完了検査の受検数			%	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	85	85				
	実績値	80.8						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	1,350	0	0	0	0	0
	県支出金	0	675	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	338	323	309	283	0	0	0
	一般財源	0	2,025	0	0	0	0	0
	実績額計	338	4,373	309	283	0	0	0
	予算額計	406	4,828	367	364	365	0	0
執行率		83.25 %	90.58 %	84.2 %	77.75 %	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	宅地開発指導による完了検査の受検		過年度実績による予測値を目標設定				件	19
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
現状の完了検査率は高い水準にあり、今後も引き続き完了検査受検に関する啓発を目的としたリーフレットの作成・配布や、電話・文書等による催促、現地パトロールを実施することにより、目標に対する達成水準の維持に努めます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名		574 建築指導事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		建築基準法、茨城県建築基準条例等			款	08 土木費		
					項	01 土木管理費		
					目	02 建築指導費		
				主な内訳				
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	建築計画のある市民もしくは既存建築物を所有する市民			
	施策	O8 地域に調和した景観の整備		意図 (どのように)	法令等に基づく行政指導			
事業の概要		違反建築の無い良好な住環境と都市景観を形成するため、法令等の規制に関する適切な情報提供及び当該規制に基づく適正な指導、並びに県（特定行政庁）との連携による違反防止及び是正措置を実施しています。						
事業全体としての課題		八郷地区には、平成4年9月1日の八郷都市計画区域決定がされる以前に建築された建築物が多数存在しており、当該建築物が建替え時期を迎えていることから、現行法に適合する計画となるよう指導する必要があります。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	年度内のパトロール実施件数		年度内における市内全域のパトロール実施件数			件	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	60	60	60	60		
	実績値	87						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	8	8	6	6	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	15	12	9	9	0	0	0
	一般財源	3,557	3,648	3,873	3,872	0	0	0
	実績額計	3,580	3,668	3,888	3,887	0	0	0
	予算額計	3,781	3,813	3,958	3,960	4,887	0	0
執行率		94.68%	96.2%	98.23%	98.16%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	建築士会によるパトロール		毎年実施されるパトロール件数の合計値を目標設定				%	87
	茨城県建築指導課によるパトロール		隔年度に実施されるパトロール件数を目標設定				%	22
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており、上位目標の達成においても有効な事業であると考えられることから、引き続き適正な実施に努めます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名	11486 空家等対策事業			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令	平成30年度空家バンク活用促進助成金交付要綱				款	04 衛生費		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）			項	01 保健衛生費		
	施策	09 その他			目	03 環境衛生費		
				主な内訳				
顧客（誰を）				顧客（誰を）	空家バンクを介して空家を購入し、当該空家に住民票を移した者			
意図（どのように）				意図（どのように）	購入の際に支払った不動産仲介手数料の一部を補助する			
事業の概要				空家バンクを介して空家を購入し、当該空家へ住民票を移した者に対し、購入の際に仲介業者へ支払った不動産仲介手数料の一部を助成することで、空家バンク制度自体の活用を促進し、市内の空家が管理不全となることをあらかじめ防止し、併せて定住人口の増加を図ります。				
事業全体としての課題				市内には平成28年度時点で1371件の空家が存在するとされており、管理不全となった空家は周辺環境を悪化させるほか、防犯の観点からも危険とされています。また、空家は経年劣化の影響が特に大きいことから、使用可能な空家については、可能な限り再利用されるよう誘導する必要があります。また、空家が再利用されることで定住人口の減少の歯止めとなることが期待されます。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	空家バンク物件登録数		石岡市空家バンクに賃貸又は売却を目的として登録した空家の件数			件	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	5	5				
実績値	5							
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	実績額計	0	0	0	0	0	0	0
	予算額計	0	0	0	250	250	0	0
執行率		%	%	%	0%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	空家バンク物件登録件数		石岡市空家バンクに賃貸又は売却を目的として登録した空家の件数					5
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
当事業により石岡市空家バンクの活用を促進することで、市内に存する使用可能な空家の再利用を促すことは、空家が周辺の住環境に及ぼす悪影響を未然に防止するのみならず、市の定住人口の増加に寄与するものと考え、上位目標達成においても有効な事業であると考えられることから、引き続き適正な実施に努めます。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名	6993 被災住宅復興支援事業			予算	会計	01 一般会計		
	根拠法令	石岡市東日本大震災被災住宅復興支援事業補助金交付要綱			款	08 土木費		
項					06 住宅費			
目					01 住宅管理費			
				主な内訳	負担金補助及び交付金			
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）		顧客（誰を）	東日本大震災により被災した自己用住宅の補修等のため金融機関から資金融資を受けた方			
	施策	O2 防災機能の整備・強化		意図（どのように）	利子補給金を交付します。			
事業の概要				東日本大震災により自ら居住していた住宅に被災を受けた方に対して、被災した住宅の復興のために必要な資金の借入に係る利子について、利子補給金を交付します。				
事業全体としての課題				支援制度が多数あり、それぞれに対象となる被害認定基準に違いがあり、制度が複雑化しています。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	利子補給件数		制度利用による利子補給件数			件	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	30	30				
		実績値	7					
事業計画	過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	現年度（予算額） 平成31年度	将来予測額 令和02年度	将来予測額 令和03年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	705	613	374	181	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	0	
	実績額計	705	613	374	181	0	0	
	予算額計	705	613	605	377	225	0	
執行率	100%	100%	61.82%	48.01%	0%	%	%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	利子補給件数		制度利用による利子補給件数				件	7
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）		
制度内容の円滑な運用に努め、震災からの早期復興を支援します。						令和3年度		

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	69 道路管理事務費			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
根拠法令	道路法				項	01 土木管理費		
					目	01 土木総務費		
				主な内訳				
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図(どのように)	安全で快適な道路通行を確保させる			
事業の概要		道路台帳の整備。 道路・水路の境界立会い。						
事業全体としての課題		地方分権一括法による法定外公共物の譲与に伴い維持管理事務が増えてきている。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	道路管理		新規路線・改良路線・廃止路線等の管理			件	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	100	100				
		実績値	124					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	5	5	5	0	0	0
	一般財源	14,275	9,808	16,158	45,531	0	0	0
	実績額計	14,275	9,813	16,163	45,536	0	0	0
	予算額計	15,865	11,103	16,163	45,536	72,861	0	0
執行率		89.98%	88.38%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	道路台帳補正		毎年度4月1日現在の認定路線補正件数を目標設定				箇所	124
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
道路台帳の1本化を、現在進めている。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名		70 一般市道整備事業（単独）		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		道路法			款	08 土木費		
					項	02 道路橋りょう費		
					目	03 道路新設改良費		
				主な内訳		工事請負費,委託料		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図（どのように）	道路整備を行い市民の利便性を向上させる			
事業の概要		生活道路の改良・舗装 道路排水施設の新設・改良						
事業全体としての課題		各地区から毎年要望が提出されるが、限りある予算のなかでは、整備の箇所が限られてしまう。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	道路の排水・舗装整備		市道の排水・舗装整備箇所			箇所	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	83	75				
	実績値	84						
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	319,723	243,487	217,616	250,065	0	0	0
	実績額計	319,723	243,487	217,616	250,065	0	0	0
	予算額計	335,429	250,450	247,206	291,289	255,794	0	0
執行率		95.32%	97.22%	88.03%	85.85%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	道路の排水・舗装整備		市道の排水・舗装整備箇所				箇所	84
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
限られた予算の中で、必要性・緊急性の高い箇所から効率的・効果的に整備を行っていく。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	283 地方道路等整備事業			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
					項	02 道路橋りょう費		
					目	03 道路新設改良費		
根拠法令		道路法		主な内訳		工事請負費, 委託料		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図 (どのように)	道路整備を行い市民の利便性を向上させる			
事業の概要				主に地域間・集落間を連絡する幹線道路や、国・県道へ結び市道を年次計画により整備し、生活の利便性の向上・地域環境の改善を図る。				
事業全体としての課題				各地区から毎年要望が提出されるが、限りある予算のなかでは、整備の箇所が限られてしまう。用地交渉等工事完成までに相当の歳月がかかる。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	道路の整備		道路整備延長			m	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	1,000	1,000				
		実績値	1,296					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	205,500	303,100	122,800	152,900	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	22,923	33,769	13,724	17,016	0	0	0
	実績額計	228,423	336,869	136,524	169,916	0	0	0
	予算額計	228,424	477,222	176,070	274,461	180,800	0	0
執行率		100%	70.59%	77.54%	61.91%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	道路の整備		市道A6202号線外 8箇所				m	1,296
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
限られた予算の中で、事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていく。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名		285 道路橋りょう施設災害復旧費		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		公共土木施設災害復旧事業査定方針			款	11 災害復旧費		
					項	02 土木施設災害復旧費		
					目	01 道路橋りょう施設災害復旧費		
				主な内訳		工事請負費, 委託料		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図 (どのように)				
事業の概要		災害時に迅速に復旧工事を行い、道路・橋りょう・河川等の安全性の回復を図る。						
事業全体としての課題		災害時に、道路・水路・橋りょう施設が被災した場合に速やかに復旧を行い、日常生活の利便性や交通の安全、円滑化を図るものであるが、自然現象であるために予測ができない。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	被災箇所の復旧					件	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	0	0				
		実績値	0					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	27,374	38,138	3	3	0	0	0
	実績額計	27,374	38,138	0	0	0	0	0
	予算額計	27,413	47,483	3	3	3	0	0
執行率		99.86%	80.32%	0%	0%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
災害時に、道路・水路・橋りょう施設が被災した場合に速やかに復旧を行い、日常生活の利便性や交通の安全、円滑化を図る。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	384 道路一般事務費			予算	会計	01 一般会計		
	根拠法令				款	08 土木費		
			項		02 道路橋りょう費			
			目		01 道路橋りょう総務費			
				主な内訳				
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図 (どのように)				
事業の概要		道路行政全般に係る事務を行う経費。						
事業全体としての課題		厳しい財政状況の中事業規模の縮小						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標							
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,066	2,109	2,845	5,322	0	0	0
	実績額計	2,066	2,109	2,845	5,322	0	0	0
	予算額計	2,066	2,162	2,845	5,322	2,613	0	0
執行率		100%	97.55%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	土浦土木協会		総会 1回 幹事会 2回 研修会 2回				回	5
	つくば市・笠間市間道路整備促進協議会		総会 1回 幹事会 2回 研修会 1回				回	4
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
道路維持のための現場事務所の適正な維持管理及び各種協議会等への積極的な参加により、適正な維持管理に取り組んでいく。							令和元年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名		578 排水路整備事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	08 土木費		
					項	02 道路橋りょう費		
					目	05 排水路整備事業費		
				主な内訳		工事請負費, 委託料		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図 (どのように)	排水整備を行い雨水等の被害を防止する			
事業の概要		排水路の改修・整備						
事業全体としての課題		地区からの要望や道路冠水の解消の為、規模の大きな排水路整備を行う中、限りある予算では、整備の箇所が限られてしまう。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	排水路の整備		排水路整備延長			m	平成30年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	755	711				
		実績値	744					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	99,400	62,600	50,300	78,500	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	33,181	25,304	21,347	26,275	0	0	0
	実績額計	132,581	87,904	71,647	104,775	0	0	0
	予算額計	138,705	94,000	106,684	152,005	100,100	0	0
執行率		95.58%	93.51%	67.16%	68.93%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	排水路の整備		排水路の整備延長				m	744
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
予算の範囲で、必要性・緊急性の高い箇所から優先して事業を行っていく。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	670 道路維持経費			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
					項	02 道路橋りょう費		
					目	02 道路維持費		
根拠法令		道路法		主な内訳				
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図(どのように)				
事業の概要				道路パトロールによる日常的な道路の補修及び業者発注による道路除草・道路修繕を行う。地元施工による生コン舗装・側溝蓋設置等への原材料支給。				
事業全体としての課題				既設道路の老朽化が著しく、補修・修繕に多大な経費・労力が必要であるが、それに伴う予算・人的措置が不十分である。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	道路等の維持・管理		道路・水路の修繕, 原材料支給箇所等			件	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	820	700				
		実績値	750					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	46,475	19,690	7,045	15,730	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	34,700	11,600	5,200	11,500	0	0	0
	その他	25,785	29,148	25,480	30,470	0	0	0
	一般財源	184,582	131,537	163,563	160,408	0	0	0
	実績額計	291,542	191,975	201,288	218,108	0	0	0
	予算額計	291,542	209,304	201,288	218,108	199,752	0	0
執行率		100%	91.72%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	道路の維持管理・修繕		委託・工事処理件数				件	680
	原材料支給		生コン・側溝蓋等支給地区数				件	70
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
補修要望について、年々増加傾向にあり、限られた予算の中で全て対応することが難しくなっていることから、補修箇所の現地測量及び復旧工法の精査により工事費の圧縮を行い、優先度の高い箇所から補修・改修を行っていく。原材料支給については、支給前に全要望箇所の調査を行っているため、地区の実情に則した必要量の配分を行う。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	671 橋りょう維持費			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令	道路法				款	08 土木費		
					項	02 道路橋りょう費		
					目	04 橋りょう維持費		
				主な内訳	委託料			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図(どのように)	橋梁の維持・修繕を行い市民の利便性を高める			
事業の概要				橋りょうの補修、及び橋りょう長寿命化修繕計画策定のための予備調査を行う				
事業全体としての課題				既設橋りょうの老朽化が著しく、補修・修繕に多大な経費・労力が必要であるが、それに伴う予算・人的措置が不十分である。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	橋りょう修繕		橋りょう修繕数			橋	令和5年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	1	0				
		実績値	1					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	5,806	73,309	36,101	17,105	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	7,900	38,300	6,000	6,700	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	7,872	10,660	23,538	7,295	0	0	0
	実績額計	21,578	122,269	65,639	31,100	0	0	0
	予算額計	21,578	122,270	65,639	31,100	34,000	0	0
執行率		100%	100%	100%	100%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	橋りょう修繕		対象橋りょう数				橋	1
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
第6号橋 1橋の補修工事完了。 今後、2m以上の橋梁長寿命化個別計画を策定し、予算の範囲で、必要性・緊急性の高い箇所から優先して事業を行っていく。							令和2年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	8075 狭あい道路待避所整備事業			予算	会計	01 一般会計		
					款	xx 土木費		
項	xx 道路橋りょう費							
目	xx 道路新設改良費							
根拠法令				主な内訳				
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	市民全般			
	施策	O3 道路の整備		意図 (どのように)	道路整備を行い市民の利便性を向上させる			
事業の概要				市内狭あい道路の待避所整備				
事業全体としての課題				狭あいな道路が多く、限りある予算の中では、整備箇所が限られてしまう。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	待避所の整備		待避所整備箇所数			箇所	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	4	4				
	実績値	2						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5,451	3,388	5,348	6,303	0	0	0
	実績額計	5,451	3,388	5,348	6,303	0	0	0
	予算額計	10,000	10,000	7,500	10,000	10,000	0	0
執行率	54.51%	33.88%	71.31%	63.03%	0%	%	%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	待避所の整備		待避所整備箇所数				箇所	2
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
限られた予算の中で、必要性や緊急性の高い箇所から効率的に整備を行う。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	11591 上管トンネル整備事業			予算	会計	01 一般会計		
	根拠法令	道路法			款	08 土木費		
項					02 道路橋りょう費			
目					03 道路新設改良費			
				主な内訳	委託料			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	道路利用者			
	施策	O3 道路の整備		意図 (どのように)	安全な通行の確保, 交流人口の拡大			
事業の概要				狭隘な峠の道路に替わりトンネルを整備することで, 安全な通行を確保し, 交流人口の増加を図っていきます。				
事業全体としての課題				平成37年度までの開通を目指し, 計画的に事業を進めます。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	交通量		24時間に通過する自動車の通行量			台/日	令和7年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	6000/日	6000/日				
	実績値	0						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	837	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	1,400	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	102	0	0	0
	実績額計	0	0	0	2,339	0	0	0
	予算額計	0	0	0	55,000	1,550,500	0	0
執行率		%	%	%	4.25%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
(仮称)上管トンネルの整備事業について, 受委託先の茨城県, 事業主体の石岡市, 桜川市の3者が共同で, 令和7年度開通を目指し, 事業を展開してまいります。							令和7年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名		178 交通安全施設整備事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		道路法			款	08 土木費		
					項	02 道路橋りょう費		
					目	03 道路新設改良費		
				主な内訳		工事請負費		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）		顧客（誰を）	市民全般			
	施策	01 交通安全の推進		意図（どのように）	交通安全施設の整備を行い、市民の安全確保や利便性の向上を図る。			
事業の概要		歩行者や自転車安全で快適な移動を可能にするため、歩道新設・既設歩道改修を行う。車両が安全に通行できるよう、施設整備を行う。						
事業全体としての課題		交通安全施設整備を行う中、限りある予算のなかでは、整備の箇所が限られてしまう。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	交通安全施設整備		交通安全施設整備箇所			箇所	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	4	4				
	実績値	16						
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	将来予測額	将来予測額
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	12,331	12,472	12,493	12,485	0	0	0
	実績額計	12,331	12,472	12,493	12,485	0	0	0
	予算額計	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	0	0
執行率		98.65%	99.78%	99.94%	99.88%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	交通安全施設整備		交通安全施設整備箇所				箇所	16
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
限られた予算の中で、必要性や緊急性の高い箇所から効率的に整備を行う。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	484 河川事務費			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
根拠法令	河川法				項	03 河川費		
					目	01 河川総務費		
				主な内訳	負担金補助及び交付金			
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ（生活・環境）		顧客（誰を）	市民全般			
	施策	07 環境保全の推進		意図（どのように）	良質な河川環境の構築を図る			
事業の概要		河川整備全般にかかる協議会等への負担金						
事業全体としての課題		良質な河川環境の構築を目指して設置された各種協議会等への負担金						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	河川関係各種協議会		協議会参加延べ人数			人	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	8					
		実績値	11					
事業計画		過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	現年度（予算額） 平成31年度	将来予測額 令和02年度	将来予測額 令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	0	0	0	0
	一般財源	211	243	245	280	0	0	0
	実績額計	211	243	246	280	0	0	0
	予算額計	218	244	252	281	326	0	0
執行率		96.79%	99.59%	97.62%	99.64%	0%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	協議会等への参加		協議会参加人数				人	11
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
協議会等通じて国等の上部機関へ整備要望し、河川環境の整備を促進する。							令和3年度	

令和元年度 事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名		179 急傾斜地崩壊対策事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		公共土木施設災害復旧事業査定方針			款	08 土木費		
					項	03 河川費		
					目	01 河川総務費		
				主な内訳		負担金補助及び交付金		
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）		顧客（誰を）	急傾斜地崩壊危険箇所指定地域内に居住する市民及び近接の道路等公共施設利用者			
	施策	O2 防災機能の整備・強化		意図（どのように）	崩壊の危険性がある箇所の整備を行い市民の安全を図る。			
事業の概要				急傾斜地崩壊対策事業（事業主体は茨城県）への負担金（事業費の10%）				
事業全体としての課題				急傾斜地崩壊危険箇所指定地域（傾斜度30度以上、高さ5m以上、人家1戸以上）の災害防止施設の整備。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	災害防止施設の整備（県事業）		災害防止施設の延長 (平成20年度～令和2年度)			m	令和3年度
		年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度		
		目標値	372	372				
		実績値	345.3					
事業計画		過年度（決算額） 平成27年度	過年度（決算額） 平成28年度	過年度（決算額） 平成29年度	過年度（決算額） 平成30年度	現年度（予算額） 平成31年度	将来予測額 令和02年度	将来予測額 令和03年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,000	9,100	8,700	3,637	0	0	0
	実績額計	3,000	9,100	8,700	3,637	0	0	0
	予算額計	3,000	9,100	8,700	3,637	7,870	0	0
執行率		100%	100%	100%	100%	%	%	%
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	災害防止施設の整備		災害防止施設延長				m	22
事業の成果と今後の方向性							見直し年度（目標年度）	
県事業（国庫補助採択）のため、整備箇所や事業費などが限られる。							令和3年度	